# 1 実行方法

### 1.1 動作環境

OS は Windows 10, 開発環境は Visual Studio 2013 Community で作成している.

### 1.2 ファイル構造

この zip の中のファイル構造を示す.

```
document
        ^{\perp}-- document.pdf
        - kadai4
         \vdash -- array_graph.h
         -- array_graph2015.lib
         \vdash -- graph.dat
         -- graph_kadai4.dat
         -- kadai4.c
         \vdash — — kadai4.h
         \vdash — — kadai4.vcxproj
11
         \vdash — — kadai4.vcxproj.filters
         ^{\perp}---\text{ main.c}
13
        — kadai4.sdf
14
   ^{\perp}-- kadai4.sln
```

graph\_kadai4.dat が本課題で与えられているプロジェクトのグラフデータファイルである.

## 2 課題内容

### 2.1 課題1

与えられたプロジェクトのアローダイアグラムを Fig. 1 に示す. また対応するグラフデータファイルは  $graph_kadai4.dat$  として保存しており、ファイルは以下のような内容である.

```
1 1 2 2 2 2 1 3 3 3 3 3 3 3 2 4 2 4 2 4 3 5 1 5 3 6 0 6 4 6 0 0 7 4 8 3 8 5 7 1 1 9 6 7 2 10 7 8 2
```

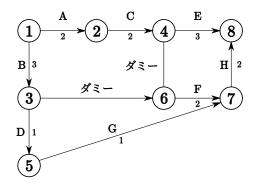


Fig.1 アローダイアグラム

#### 2.2 課題 2

全ての頂点について最早結合点時刻の計算結果を示す.

$$\begin{array}{lll} t_1^E=0 & t_2^E=0+2=2 & t_3^E=0+3=3 \\ t_4^E=2+2=4 & t_5^E=3+1=4 & t_6^E=\max(3,\ 4)=4 \\ t_7^E=\max(5,\ 6)=6 & t_8^E=\max(7,\ 8)=8 \end{array}$$

全ての頂点について最遅結合点時刻の計算結果を示す.

$$\begin{array}{lll} t_8^L=8 & t_7^L=8-2=6 & t_6^L=6-2=4 \\ t_5^L=6-1=5 & t_4^L=\min(5,\ 4)=4 & t_3^L=\min(4,\ 4)=4 \\ t_2^L=4-2=2 & t_1^L=\min(0,\ 1)=8 \end{array}$$

プログラムによる実行結果のスクリーンショットは課題3の結果と合わせて示す.

### 2.3 課題3

最早 = 最遅結合点時刻となる作業系列を求めると  $t_0^E=t_0^L$ ,  $t_2^E=t_2^L$ ,  $t_4^E=t_4^L$ ,  $t_6^E=t_6^L$ ,  $t_7^E=t_7^L$ ,  $t_8^E=t_8^L$  となり,  $1\to 2\to 4\to 6\to 7\to 8$  である. また Fig. 1 より作業名で表すと  $A\to C\to F\to H$  である.

## 2.4 結果

Fig. 2 にプログラムを実行した結果を示す.

Fig.2 結果のスクリーンショット